

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	論理国語	2単位	2年次	必修
教科書	論理国語(数研出版)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」(B)、「読むこと」(C)の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目				評価のポイント(規準)
					①	②	③		
						A			
4 5	逆説 具体と抽象 考えの表出	弱いつながり	・「人はなぜ言わなければならないのか」という問いに対する筆者の考えを根拠として読み取る。	11	○		○	○	検証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
		胆力について	・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。				6		言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
			・筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。		○	○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。[A1][E] 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
							5		
5 6	具体と抽象	「内的成長」社会へ	・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。	12	○	○	○	○	検証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
		「具体」から「抽象」へ	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がかかる具体的な事例を日常生活の中から考える。		○	○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							6		
7 8	言葉と創造	国境を超える言葉	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。	9	○	○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
		探究の扉－比べ読み－ニュースとコミュニケーション	・対談の文章を読み、それぞれの考えの共通点を読み取る。 ・「桶」という比喩に込められた意図について考える。		○	○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							4		
9 10	近代と現代の視点	未来世代への責任	・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ・「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。	10	○	○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							5		
10 11	情報と社会	探究の扉－比べ読み－科学の現場 科学と生命	・「科学」について書かれた二つの文章の内容と表現の共通点と相違点を読み取る。 ・科学における「権威主義」について理解する。	8	○	○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							4	4	
11 12	言葉と思考	擬似群衆の時代	・文章の内容を踏まえ、メディアと群衆現象の関係を整理する。 ・「待機する群衆」が潜在させている力について、自分の考えを述べる。	8	○		○	○	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 「読むこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
							4		
1 2 3	文章の背景	日本語は非論理的か	・筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ・指定の段落構成に従い、筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例や自分の意見を論述する。	12	○	○	○	○	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
							4	4	
1 2 3	文章の背景	探究の扉－比べ読み－現代日本の開化 漱石が生きた時代	・夏目漱石の講演録と、漱石の時代について考察した文章を関連づけて読む。 ・時代背景が人間や作品に与える影響について考え、論述する。	12	○	○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
							6	6	

教科	科目	単位数	開設年次
国語科	古典探究	2単位	2年次
教科書			
高等学校 古典探究(数研出版 古探711)			
副教材等			
古文単語300+敬語30(いっずな書店)、新修古典文法二訂版(京都書房)、漢文必携五訂版(桐原書店)、三訂版よむなび古典(いっずな書店)			
科目の目標(学習指導要領)			
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通し先人のものの見方、感じ方、考え方と関わる中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにする。	「読むこと」において、作品の構成や展開を正しく捉え、内容を正確に理解する	語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深めようとし、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。
時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	「読むこと」において、作品についての考察をすることで、自身の考えを深める。	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めようとし、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。
		作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80％以上	各検査等状況の30％以上	各検査等状況の30％未満
②思考力 表現力	各活動内容の80％以上	各活動内容の30％以上	各活動内容の30％未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80％以上	提出物状況・授業への参加 30％以上	提出物状況・授業への参加 30％未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実 時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	エリクソン 古文1 説話 十訓抄 漢文1 故事	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②) ・文章の主題を読み取り、内容を理解する。(③)	6	○	○	○	・設問に対し、語句の意味、用法、和歌の表現技法、句法などの知識を活用して、的確な解答を作成できている。(①)
5	古文2 歌物語 伊勢物語 漢文2 史伝 鴻門之会	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②) ・歴史的背景を理解した上で本文内容を読解し、登場人物の心情を読み取る。(③)	8	○	○	○	・作品の時代背景や登場人物を取り巻く人間関係や、内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②)
6	古文3 随筆 枕草子 漢文3 思想 論語・孟子・荀子 前期の確認1	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・古典特有の表現に注意して内容を捉える。(②) ・現代語と古典の意味の差違をまとめる。(③) ・各思想に見られる考えを考察する。(④)	6	○	○	○	・「参加型授業」において、生徒同士で自主的な「学び合い」をして、授業への真摯な取り組みが見られる。(④)
7・8	古文4 日記 更級日記 漢文4 漢詩 絶句・律詩	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・漢詩の規則や表現技法を的確に理解する。(②) ・文章の構成を踏まえて校正や展開を的確に捉えている。 ・各詩に見られる考えを考察する。(③)	8	○	○	○	
9・10	古文5 物語 源氏物語 漢文5 史伝 四面楚歌 前期の確認2	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②) ・歴史的背景を理解した上で本文内容を読解する。(③) ・登場人物の心情と人間関係を考察する。(④)	15	○	○	○	
11	古文6 随筆 方丈記・徒然草 漢文6 思想 老子・莊子・韓非子 後期の確認3	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・作品の背景を理解した上で本文内容を読解する。(②) ・作者の思想を考察する。(③)	7	○	○	○	
12	古文7 歴史物語 大鏡 漢文7 文章 桃花源記	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②) ・本文に描かれている様子について考察する。(③)	7	○	○	○	
1・2	古文8 軍記物語 平家物語 後期の確認4	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②) ・歴史的背景を理解した上で本文内容を読解する。(③) ・登場人物の心情と人間関係を考察する。(④)	7	○	○	○	
3	古文9 和歌・歌謡・俳諧	・語句の意味、用法、和歌の表現技法・句法等を的確に理解する。(①) ・作品の内容や解釈について考えを広めたり深めたりする。(②) ・鑑賞を通して作者やその歌が作られた時代について調べる。(③)	6	○	○	○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語	探究国語	2単位	2年次	C群
教科書				
副教材等	「プログレス現代文総演習 基本編」 「プログレス古典総演習 基本編」			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。				
(2) 論理的、批判的に考える力、創造的に考える力、他者との関わりの中で伝え合う力をつけ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3) 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
言葉の働きを理解し、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語感を豊かにすること。	書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じ、自分の立場や論点を明確にしながら、主張を支える適切な根拠をそろえて、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。	課題等への取り組み 提出状況
文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握す、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。	授業の予習や準備に対する取り組み
主張とその前提や反証など情報と情報との関係や、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めるとともに、推論の仕方について理解を深め使うこと。		グループワークやペアワーク等への参加に対する意欲 無関心 非協力的ではないか
新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。		

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を深く理解し、それらを活用しながら論理的に思考したり、主体的に課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である
②思考力 表現力	あらゆる活動を通して、他者を尊重し、自他の考えを調整し、互いに納得しうる結論に向けた行動をとることができる	他者の主張を理解し、自分の主張と合致できる点を調整し、教師等他者の協力をえながら、結論を導くための行動をとることができる	協力的な言動により周囲と共に活動することはできるが、他者の発言を理解したり、価値観を尊重しながら協力することが難しい
③学びに向かう力	あらゆる場面で、自らを律し、言動を正すことの意味を自覚し、主体的かつ計画的に物事を考え、臨機応変に行動することができる	自分の価値観を基準にしながらも、異なる価値観や考え方があることを理解し、共感できる面を探ることができる	他に迷惑が及ぶ事柄に対して、自らの言動を正すことはできるが、目標達成に向け、主体的に考え、行動することができない

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	単元評価	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5	「伊曾保物語」 「蒙求」	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	13	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。 【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
6 7 8	「徒然草」 「笑林」 「宇治拾遺物語」	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	21	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
9 10 11	「古今著聞集」 「論語」 「落栗物語」	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	21	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
12 1	「諸苑」 「土佐日記」 「世説新語」 今年の漢字	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	13	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
3月	新俳句大賞への応募	俳句を作成し、お互いに鑑賞をする。	2	○	○	○	短歌・俳句の知識を得る。短歌・俳句の鑑賞を行う。 【思考力 表現力】 作品を完成させることができたか。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	教養国語	2単位	2・3年次	C群
教科書				
副教材等	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
・漢字や語彙の学習を通し、これらを取得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。 ・異年次交流であるため、グループワークを通して発表学習を行う。その際に論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら実施する。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
漢字の語句の意味、用法を理解すること。 日本語のことわざや慣用句の意味を理解すること。 日本の文学史についての知識を深めること。	一般教養問題についての理解を深め自ら活用する力や表現力を身につけること。 我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 「運命の漢字」を調べ発表し表現力を身につけること。	漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 「運命の漢字」を選び主体的に調べること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	70 (3年次は60)	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」2文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
4	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定5級レベル 文章の整え方 敬語法 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」3文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
5	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定4級レベル 問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」4文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
6	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定3級レベル 問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」5文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
7	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定3級レベル 問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」6文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
8 9	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定準2級レベル 問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」7文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
10	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定準2級レベル 問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」8文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
11	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定2級レベル 問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」9文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
12	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通してプレゼンテーションを行う。	漢字検定2級レベル 問題 ことわざ・慣用表現 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」10文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。 こまめが3年次	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・国語の一般教養がどの程度身についたか。 ・年間を通して意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・国語の一般教養がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通して意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)
2 3	ここから2年次のみ自作のプリントを使用し希望理由の書き方と小論文の書き方についての基礎知識を身につける	授業評価アンケートの実施	・年間を通して行った語彙力や教養を用い各課題に取り組んだか。 ・希望理由が明確になっているか。 ・小論文の書き方が的確に理解されているか。	10	○	○	○	・語彙力と教養がどの程度身についたか。(知識・技能) ・各課題に対して自分の考えを深めながら取り組んだか。(思考力・表現力) ・年間を通して意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学	数学Ⅱ・数学B	4単位・2単位	2年次	必修
教科書	NEXT数学Ⅱ・NEXT数学B(ともに数研出版)			
副教材等	CONNECT数学Ⅱ+B(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
数Ⅱ：いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
数B：数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解することができた。	事象を数学的に考察する力を身に付けることができた。	課題等への取り組み、提出ができた。
事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けることができた。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付けることができた。	授業の予習や準備に対する取り組みができた。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付けることができた。	数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を身に付けることができた。	グループワークやペアワーク等への参加に意欲をもって取り組んだ。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	達成率約70%以上	達成率約50%以上	達成率約50%未満
②思考力 表現力	達成率約60%以上	達成率約30%以上	達成率約30%未満
③学びに向かう力	達成率約80%以上	達成率約60%以上	達成率約60%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月 通年	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
	全ての単元	・課題提出 ・授業観察(取り組み姿勢)				○	・課題にきちんと取り組み、提出できた。 ・(授業内の)演習を含めてきちんと演習を受けた。
4	(数Ⅱ) 第1章 式と証明	第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	20	○	○	○	・3次式の展開や因数分解、二項定理や多項式の除法について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。 ・恒等式について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
5 6	(数B) 第1章 数列	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	34	○	○	○	・数列について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
7	(数Ⅱ) 第2章 複素数と方程式	第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	15	○	○	○	・複素数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
8 9	(数Ⅱ) 第3章 図形と方程式	第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	29	○	○	○	・点や直線に着目し、直線や円の方程式、軌跡や領域の考え方について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
10	(数Ⅱ) 第4章 三角関数	第1節 三角関数 第2節 加法定理	24	○	○	○	・三角関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
10 11	(数Ⅱ) 第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数 第2節 対数関数	26	○	○	○	・指数関数、対数関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
11 12 1	(数Ⅱ) 第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	32	○	○	○	・微分法、積分法について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。
1 2 3	(数B) 第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	30	○	○	○	・確率分布や推定、仮説検定の考え方について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につける。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学	数学C	2単位	2・3年次	C・E2・E4
教科書	NEXT数学C(数研出版)			
副教材等	CONNECT数学C(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察する力を身に付ける。	課題等への取り組み、提出。
事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付ける。	授業の予習や準備に対する取り組み。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付ける。	数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	グループワークやペアワーク等への取り組み。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	達成率約70%以上	達成率約50%以上	達成率約50%未満
②思考力 表現力	達成率約60%以上	達成率約40%以上	達成率約40%未満
③学びに向かう力	達成率約80%以上	達成率約60%以上	達成率約60%未満

年間指導計画および各観点評価の規準							
月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6	第1章 平面上のベクトル	第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 テスト	15	○	○	○	平面上のベクトルについて理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7 8	第2章 空間のベクトル	1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間 テスト	10	○	○	○	空間のベクトルについて理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
9 10	第3章 複素数平面	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 テスト	15	○	○	○	複素数平面について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
11 12 1	第4章 式と曲線	第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 テスト	20	○	○	○	式と曲線について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学科	実用数学A	2単位	2年次	C群
教科書	公務員国家公務員地方初級⑤ 一般知能			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
これまで学習してきた算数・数学から、複雑化した事象を数理的に捉え、論理的に推察する力をつける。 ・社会生活における数理的な事象について、問題解決できる力をつける。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
これまでに学習してきた数学の概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、表現・処理したりする技能を身につける。 社会生活における数学的な事象の中にある数学的な概念や原理・法則を理解し、表現・処理するする技能を身につける。	文章を読み解き図式化し、事象の構造を明確にする力を身につける。そのことで、数学的な思考をより具体的に明確な表現へと転化させる力を身につける。また、思考の糧でより簡潔・明確な表現へ向かう判断力を身につける。	数学の知識や技能を活用しながら、問題に対して、論理的に解決できる、粘り強い取り組みができるようにする。 社会生活における数学的な事象に対して積極的に関わり、既知の知識や技能をさらに深めようと努める。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	数学の概念や原理・法則を体系的に深く理解し、表現処理できる。	数学の概念や原理・法則を体系的に概ね理解し、表現処理できる。	数学の概念や原理・法則を体系的に理解し、表現処理できない。
②思考力 表現力	数学的な思考を簡潔・明確な表現へ向かう判断力が深く身につけている。	数学的な思考を簡潔・明確な表現へ向かう判断力が身につけている。	数学的な思考を簡潔・明確な表現へ向かう判断力が身につけていない。
③学びに向かう力	問題解決に粘り強く取り組む姿勢を示す。	問題解決に取り組む姿勢を示す。	問題解決に取り組む姿勢があまり見られない

年間指導計画および各観点評価の規準						
月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目		
				①	②	③
前期	第1編 数的推理 (数的処理)	第1章 方程式 第2章 割合 第3章 速さ 第4章 確率 第5章 図形の計量	32	○	○	○
						・単元確認テスト ・授業の取り組み
後期	第1編 数的推理 (数的処理)	第6章 整数 第7章 計算パズル 第8章 規則性	38	○	○	○
	第2編 判断推理 (課題処理)	第1章 順序関係 第2章 対応関係				同上

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	
公民	公共	2単位	2年次	必修	
教科書	公共(実教出版)				
副教材等	なし				
① 科目の目標(学習指導要領)					
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ベアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシートや課題・ベアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ベアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施 時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月	民主国会にお める基本原理	民主政治の成立 民主政治の基本原 理 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度	7	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか 【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・民主政治の基本的原理と各政治体制の特徴についての基本知識が身についているか【知識・技能】
5月 6月 7月 8月	日本国憲法の 基本的性格	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的性格 自由と生きる権利 平等と生きる権利 社会権と参政権・請求権 新しい人権 人権の広がりや公共の福祉 平和主義とわが国の安全 こころにちの防衛問題	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか 【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本国憲法における基本的人権の保障、及び平和主義と防衛問題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
9月 10月 11月	日本の政治機 構と政治参加	政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度 世論と政治参加	16	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか 【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本の政治制度やその課題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
11月 12月	国際政治の動 向と課題	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 こころにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と日本の役割	12	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか 【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・国際政治の仕組みや課題、様々な人種・民族問題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
1月 2月 3月	国際経済の動 向と課題	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第2次世界大戦後の国際経済 地域的経済統合の進展 国際経済のつながりと課題 発展途上国の初回代と日本の役割	10	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか 【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・国際経済の仕組みや課題についての基本知識が身についているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	
地理歴史	地理探究	3単位	2年次	B群	
教科書	新詳地理探究(帝国書院)				
副教材等	高等地図帳(二宮書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
・現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けているか。 ・地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめているか。 ・様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解できているか。 ・地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性について理解できているか。 ・様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、収集しまとめる基礎的な技能を身に付けているか。 ・世界の人々の特色ある生活文化が多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できているか。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。 ・地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できているか。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。	・現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。 ・位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 ・地図や地理情報システムについての目的や用途内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 ・世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。 ・地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしているか。 ・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ・ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。 ・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ・ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。 ・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ・ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	資料や統計をしっかりと読み取った上で、学習内容の基本知識がしっかりと身に付いている。	学習内容の基本事項が身に付いている。	学習内容の基本事項が身に付いていない。
②思考力 表現力	学習内容について、現状を捉えながら建設的な意見をしっかりと考察し、表現できている。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない

年間指導計画および各観点評価の規程

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規程)
4月 5月 6月	・地理情報と地図 ・地図の活用と地域調査 ・自然環境(世界の地形・世界の気候・環境問題)	・緯度や経度についての基本知識 ・時差が発生するしくみと計算 ・地図の活用 ・世界の地形 ・世界の気候 ・世界の環境問題	29	○ ○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・地図や地理情報システムについての目的や用途、適切な活用方法などを考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・時差の計算を正しく行えるか【知識・技能】 ・地図や地理情報システムの役割や有用性について理解し、収集する技能が身に付いているか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】
7月 8月 9月	・資源と産業(世界の農林水産業・食料問題・資源エネルギー問題・世界の工業) ・人口・村落・都市 ・生活文化・民族・宗教	・世界の農林水産業・世界の食料問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の工業・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏 ・人口問題・村落と都市 ・都市・居住問題・世界の衣食住 ・民族と宗教、民族と領土問題	27	○ ○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・世界の農林水産業や食料問題について考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な宗教や文化の違いについて捉えながら、共生するための方策について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、世界の現状や課題について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】
10月 11月 12月	・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域(アジア・アフリカ・ヨーロッパ・ロシア)	・地域区分 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア	29	○ ○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・世界の諸地域における地理的状況についての的確に考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】
1月 2月 3月	・現代世界の諸地域(アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア) ・現代世界と日本	・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ・現代世界と日本	20	○ ○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 ・現代世界の諸問題や日本の諸問題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
地理・歴史	日本史探究	3単位	2年次	B群
教科書	詳説日本史(山川出版社)			
副教材等	なし			
① 科目の目標(学習指導要領)				
日本の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解するとともに、様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、日本の歴史に関わる事象の意味や文化の特色などを多角的に考察し、構想したことを説明したり議論したりする力を養う。				

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学習に向かう力
・日本の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解することができる。 ・日本の歴史に関する様々な情報を適切に調べることができる。	・日本の歴史に関わる事象の意味や文化の特色などを多角的に考察することができる。 ・日本の歴史の諸事象について、構想したことを説明したり議論したりすることができる。	・課題などへの取り組み状況 ・提出物の提出状況とその内容 ・グループワークなどへの参加状況

上記の観点を以下の基準で評価します。(達成率に基づき3段階に評価。成績は5段階評定)

	評価Aとなること(80%以上)	評価Bとなること(30%以上)	評価Cとなること(30%未満)
①知識・技能	学習内容について資料などを読み取り、学習内容の基本知識が十分に身についている。	学習内容について基本事項が概ね身につ	学習内容の基本事項が身についていない。
②思考力・判断力・表現力	学習内容について、現状を客観的に捉えながら建設的に考察し、表現することができる。	学習内容について、自ら考察し表現することができる。	学習内容について、考察・表現することができない。
③学びに向かう力	ノートやワークシートの取り組みに工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワークに積極的に参加している。	授業内の諸活動に意欲的に取り組んでいる。	授業に対して参加する意欲がない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と大和政権	・文化の始まり ・農耕社会の成立(古墳文化の展開) ・飛鳥の朝廷	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・日本列島の自然環境がどのように変化し、人々の生活や文化にどのような影響を与えたか理解する【知識・技能】 ・ヤマト政権と古墳、ヤマト政権と大陸の関係性について、考察し表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第3章 律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代(律令国家の文化) ・律令国家の衰容	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・律令制度に基づく国家の枠組みや、制度を機能させるための国家のあり方について考察し表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
6	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の確立	・摂関政治(国風文化) ・地方政治の展開と武士 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・貴族政治における摂政・関白の意義と、地方支配のあり方の変化を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・院政の開始と武士の台頭について関連づけて考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第6章 武家政権の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退(鎌倉文化)	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・武家政権の成長過程と全国展開について、社会に与えた影響を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
8	第7章 武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭(室町文化) ・戦国大名の登場	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・南北朝の動乱から始まる武士のあり方の変化について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	・徳川政権(桃山文化) ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展(元禄文化)	12	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・世界やアジアとの交流が武士・百姓・町人にどのような変化を与えたか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・徳川政権の権力機構や外交秩序、国内の生産・経済活動について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
10	第10章 幕藩体制の動揺	・幕政の改革(宝暦・天明期の文化) ・幕府の衰退と近代への道(化政文化)	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・長期にわたる幕藩体制が生み出した矛盾と、諸改革の意義について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	12	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・欧米諸国のアジア進出に対する徳川幕府の政治体制の変化について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・明治政府の政策、改革が国際関係や社会にどのような変化をもたらしたか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
12	第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・近代産業の発展(近代文化の発達) (市民生活の豊容と大衆文化)	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・国内政治の安定と不平等条約の改正などを通して、日本のあり方や国際関係はどのように変化していったか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・西洋の技術や文化の導入によって、社会がどのように変わっていったか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第15章 恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・国際協調の崩壊と軍部の台頭によって、戦争の道に進んでいった過程を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
2	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	・占領と改革 ・冷静の開始と講和 ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	7	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・戦後、アメリカによる占領下で実施された諸改革と、冷戦体制による政策転換について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・55年体制における国内外政治の展開と、高度経済成長を可能にした諸条件について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第18章 激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・冷戦構造の崩壊と世界のグローバル化により、日本がどのような課題に直面しているかを考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
地理歴史	世界史探究	3単位	2年次	B群
教科書	詳説 世界史			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、背景、比較、相互の関係や現代世界とのつながりなどに着目して、様々なことを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を捉え、解決を模索し入れて構築したりする力や、考察、構築したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の発展を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて認識される日本国際としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを養う。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。また、歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができるか。	世界の歴史から課題や意義を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角的に考察し、そうした考察の結果を適切に表現しているか。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲をもって追求するとともに、国際社会に主体的に生き、社会を形成する市民として自覚を持って責務を果たそうとする意識をもっているか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、発問やグループワークの際に建設的な意見を述べている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組み発問に答えようとしている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組むことができず、発問に対して消極的である。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月 7月 8月	諸地域の歴史的 特質の形成	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の国家形成 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成	45	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、世界各地の古代史の特徴を捉えることができるか【知識・技能】 ・各地の古代史と西アジア・ヨーロッパの中世に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9月 10月 11月	諸地域の交流・ 再編	イスラム教の伝播とアジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易・大交流の時代 アジア書帝国の繁栄	35	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、各地の中世の様子を捉えることができるか【知識・技能】 ・各地の中世から近世に関する学習内容の基本知識が身につ
12月 1月 2月 3月	諸地域の結合・ 変容	近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、近世から近代初期の世界の様子を捉えることができるか【知識・技能】 ・各地の近世から近代初期に関する学習内容の基本知識が身

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	化学基礎	2単位	2年次	A群
教科書	化学基礎(東書・化基701)			
副教材等	ニュースステップアップ化学基礎(東京書籍)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質質量と化学反応式について、物質質量、化学反応式、酸・塩基、酸値と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質質量と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質質量と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6 7	化学と人間生活	・化学と物質	23	○	○	○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	24	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	物質の変化とその利用	・物質質量と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	23	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	地学基礎	2単位	2年次	A群
教科書	高等学校 地学基礎(数研・地基704)			
副教材等	新課程 リードα地学基礎(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活動する地球について、プレートの運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の変遷・環境について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球の変遷・環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	地球の変遷・環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	地学現象について正しく表現することができる。	地学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らが興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6	地球のすがた	・惑星としての地球 ・活動する地球 ・大気と海洋	19	○	○	○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らが興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8	地球のすがた	・大気と海洋	11	○	○	○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らが興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
9 10 11	変動する地球	・地球の変遷	18	○	○	○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らが興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	変動する地球	・地球の環境	22	○	○	○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らが興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	物理	5単位	2年次	BC群
教科書	高等学校 物理(183第一・物理709)			
副教材等	新課程版 セミナー物理(第一学習社)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動・熱力学についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動・熱力学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電磁気についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電磁気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電磁気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
原子核物理についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	原子核物理の特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見いだし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	原子核物理とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6	平面内の運動	・平面内の運動 ・放物運動 ・剛体・モーメント ・力積・運動量	44	○	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動	・円運動 ・単振動 ・万有引力 ・気体の法則	44	○	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11 12	波	・波の伝わり方 ・音 ・光	44	○	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
1 2	電気	・電場と電位 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波	30	○	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
3	原子核物理	・電子と光 ・原子と原子核	13	○	○		・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	生物	5単位	2年次	BC群
教科書	生物(104数研 生物704)			
副教材等	新課程「リードLightノート 生物(数研出版)」			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の進化について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生命現象と物質について、細胞と分子の関係、代謝などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子の関係、代謝の特徴を見いだして表現している。	生命現象と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
遺伝情報の発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物の環境応答・生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の環境応答・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	生物の環境応答・生態と環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6	生物の進化	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の仕組み ・生物の系統と進化	44	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	生命現象と物質	・細胞と分子 ・代謝	44	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	遺伝情報の発現と発生	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	29	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生物の環境応答	・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	29	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
2 3	生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	29	○	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
英語	英語コミュニケーションⅡ	3単位	2年次	必修
教科書	CREATIVE English Communication Ⅱ			
副教材等	予習・授業ノート(第一学習社)、CREATIVE English Communication Ⅱ WORKBOOK(第一学習社)、ALL EARS STANDARD(美誠社) 英単語ターゲット1400(旺文社)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど十分理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどある程度理解している。	音声、語彙、表現、文法、言語の働きなど理解できていない。
②思考力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を十分に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力がある程度身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けていない。
③学びに向かう力	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を十分に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度がある程度身に付けている。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けていない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	Lesson1 Voice for Action	・国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージ ・さまざまな助動詞、分詞構文(現在分詞)	10	○	○	○	・国連ユース気候サミットの参加者の活動とメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分が模擬サミットに参加したと想定して、環境保護のためにしたい活動を説明することができる。 ・さまざまな助動詞、分詞構文(現在分詞)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英文の内容に応じた音読をすることができる。 ・模擬サミットの特徴を理解し、聞き手に配慮して、環境保護のためにしたい活動について説明しようとしている。
5	Lesson 2 Aren't You Sleepy?	・動物の睡眠について ・受け身の分詞構文、副詞節中の(S+be)の省略	10	○	○	○	・動物の睡眠についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣について説明することができる。 ・受け身の分詞構文、副詞節中の(S+be)の省略について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・未知語の意味を推測して、英文を理解することができる。 ・インテンションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく自分の睡眠習慣について説明しようとしている。
6	Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience	・アスリートのスピーチに見られる特徴について ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了	11	○	○	○	・アスリートのスピーチに見られる特徴についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(列挙)に注意して、英文を理解することができる。 ・スピーチにおける注意点を理解しようとしている。
7	Lesson 4 Are You Prepared?	・自然災害と防災について ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞	10	○	○	○	・自然災害と防災についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(例示・追加)に注意して、英文を理解することができる。 ・効果的なプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。
9	Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony	・日本および世界の元号について ・関係副詞の非制限用法、同格のthat	11	○	○	○	・日本および世界の元号についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・日本の俳句の英訳をすることができる。 ・関係副詞の非制限用法、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・同格表現や言い換え表現に注意し、英文を理解することができる。 ・ディスカッションの役割分担を理解しようとしている。 ・読み手に配慮し、わかりやすい発音の英訳をしようとしている。
10	Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste	・フードロス・フードウェイストの問題について ・完了形の分詞構文、複合関係詞	10	○	○	○	・フードロス・フードウェイストの問題についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 ・完了形の分詞構文、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章の展開(対照)に注意して、英文を理解することができる。 ・表紙のアンケートの構成を理解しようとしている。
11	Lesson 7 Living with Adventure	・南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについて ・さまざまな仮定法、否定語+倒置	10	○	○	○	・メッセージについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創造的であるためには何が必要かを説明することができる。 ・さまざまな仮定法、否定語+倒置について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・やり取りをうまく継続させることができる。 ・プレゼンテーションの注意点を理解し、聞き手に配慮し、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。
12	Lesson 8 Power to the People!	・電池の発展について ・独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法	11	○	○	○	・電池の発展についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創造的であるためには何が必要かを説明することができる。 ・独立不定詞・独立分詞構文、if…以外が条件を表す仮定法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・文章展開(時間的順序)に注意し、英文を理解することができる。 ・ユーザーマニュアルの情報の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、創造的であるためには何が必要かをわかりやすく説明しようとしている。
1	Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet	・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について ・前置詞+関係代名詞、強調構文	8	○	○	○	・オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、旅行の写真をソーシャルメディアに上げるべきかどうかについて、自分の意見を複数のバリエーションで書くことができる。 ・前置詞+関係代名詞、強調構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・バリエーションごとの役割に注意して、英文を理解することができる。 ・ソーシャルメディアの特徴を理解しようとしている。 ・旅行の写真をソーシャルメディアに上げるべきかどうかについて、読み手に配慮して、自分の意見を複数のバリエーションでわかりやすく書くことができる。
2	Optional Lesson 1 May I Have Your Autograph?	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝える	8		○	○	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。
3	Optional Lesson 2 Information Please	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝える	6		○	○	・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
外国語	論理・表現Ⅱ	3単位	2年次	必修
教科書	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard			
副教材等	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard ワークブック			
	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard 活用ノート			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1)話すこと(やり取り): 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合えるようにする。				
(2)話すこと(発表): 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。				
(3)書くこと: 日常的な話題について多様な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で伝えることができるようにする。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
適切な発音で、文法・表現を正しく使って話すことができる。	相手に適切に質問や応答をすることで、必要な情報の交換ができる	自分の考えをクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、クラスで発表しようとしている。
適切な語彙、文法、表現を使って正しく書くことができる。	情報・考えの流れや論理に矛盾や飛躍がなく伝えることができる	相手の考えを理解し、協力してコミュニケーションを図ろうとする姿勢がある。
	教科書のテーマに沿って、十分な情報や自分の考えを書くことができる	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことがほぼできる	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことができない
②思考力 表現力	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えをほぼ書くことができる	相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを書くことができない
③学びに向かう力	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを少しではあるが、引き出そうとすることができる	ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができず、相手の考えを積極的に引き出そうとすることがない

年間指導計画

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
通年	ワークや活用ノート演習	・問題を読んで解答し、構成、展開、要旨などを的確にとらえる ・語句の意味、用法を的確に理解する。	105	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
4月 5月 6月	Part 1 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5	さまざまな時を表す 可能・義務・必要などを表す 「～される」を表す 「～すること」などを表す(to do / doing) doing / doneを使って説明する	20	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
7月 8月 9月	Lesson6 Lesson7 Lesson8 Part 2 Lesson1 Lesson2	人・物・時や場所などについて説明する 比較を表す 仮定を表す 感謝する／謝罪する 心配を述べる／励ます／感想を述べる	30	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
10月 11月 12月	Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7	提案する／勧誘する／好みを述べる 助言する／忠告する 依頼する 賛成する／反対する 意見を求める／意見を述べる	30	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる
1月 2月 3月	パラグラフの構成① Illustration / Listening パラグラフの構成② Comparison / Contrast パラグラフの構成③ Cause and Effect パラグラフの構成④ Time order	例示・列挙 比較・対照 原因・結果 時間的順序・手順	25	○	○	○	適切な発音で、語彙・文法・表現を正しく使って話し、書くことが十分にできる。相手に適切に質問や応答をし、論理的に自分の考えを十分に書くことができる。ペアワークにおいて、自分の考えを伝えたり書いたりすることができ、相手の考えを積極的に引き出そうとすることができる

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
外国語	探究英語	3単位	2年次	C群
教科書				
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
・英検準2級～2級リスニング第1部程度であれば概要を理解することができる	・収集した情報やアイデアを色々な観点から整理し、話したり、書いたりして伝えることができる	・積極的に言語活動を行うことができる。
・英検準2級～2級レベルの比較的短い英文を初見で読むことができ、概要を理解したり、必要な情報を得ることができる	・ペアやグループにおいて、相手の話に対する意見を聞いて、賛成、反対の立場を明確にし、理由を述べるることができる	・コミュニケーションを継続させようとしている。
・学習する語彙、文法の用法、構文の働き等を理解することができる。	・社会生活に関わる様々な話題について、段落構成を意識しながらまとまった量の英文を書くことができる	・上記事項の準備に真刻に取り組もうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準				
月	単元名	主な学習(指導)内容	実施時間	評価項目
				① ② ③
評価のポイント(規準)				
4月	Lesson1	リーディングジャンル「会話」 文法：文型	4	○ ○ ○
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
5月 6月	Lesson2 Lesson3	リーディングジャンル「生物」「歴史」 文法：時制	7	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
6月	Lesson 4	リーディングジャンル「社会」 文法：助動詞	6	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
7月	Lesson 5	リーディングジャンル「自然(グラフ)」 文法：受動態	7	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
8月	Lesson 6	リーディングジャンル「情報科学」 文法：不定詞、動名詞	6	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
9月	Lesson 7	リーディングジャンル「水産・海洋」 文法：不定詞、動名詞	7	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
10月	Lesson 8、9	リーディングジャンル「観光(広告文)」「食物」 文法：分詞構文、準動詞	7	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
11月	Lesson10	リーディングジャンル「社会(グラフ)」 文法：比較	7	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
12月	Lesson11	リーディングジャンル「教育(メール)」 文法：関係詞	5	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
1月	Lesson12	リーディングジャンル「食物」 文法：関係詞	5	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
2月	Lesson13	リーディングジャンル「生活(ウェブサイト)」 文法：仮定法	5	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				
3月	Lesson14	リーディングジャンル「環境(グラフ)」 文法：否定、倒置、強調、同格	4	
リーディング、文法の既習事項への理解度(確認テスト) 提出用サポートノートの取り組み(スピーキング、ライティングの表現活動の理解度(提出用サポートノート、ペアワークでの取り組み状況))				

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
保健体育	体育	2単位	2年次	必修
教科書	現代高等保健体育(50 大修館 保体701)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
それぞれの技術の名称と動きのポイント、戦術の特徴を理解しているか。	集団や自己の動きを分析して、良い点や修正点などを出せるか。	フェアプレーを大切にし、安全に練習したりゲーム等を行うことができたか。
それぞれの役割に応じた身体及び道具の操作をすることができるか。	課題解決の過程を踏まえて、集団や自己の新たな課題を発見することができるか。	練習やゲーム等に主体的に取り組み、仲間との信頼関係を深め、互いに助けあい高め合うことができたか。
フォーメーションや戦術を学び、ゲーム等を行うことができるか。	個人あるいは仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけることができたか。	用具の準備や後片付け、審判などの役割を主体的に行い、責任を果たすことができたか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
②思考力 表現力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
③学びに向かう力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施時間	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	オリエンテーション 団体行動(男女) 体育理論(男女)	授業の心得 路トレトレーニング、ストレッチング 隊列変換、行進 スポーツの始まりと変遷、文化としてのスポーツ	1 3 2		○ ○ ○	○ ○ ○	授業に関するルールについての説明、話を聞く態度。 体力テストに活かせるよう強度を段階的に上げていくか。 基礎技術を学び、全体の中で活かせるか。 スポーツをする、みる、支える、知るることについて、グループワーク等で深く学ぼうとしているか。(小テスト)
5	体力テスト(男女)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ	5	○	○	○	正しい測定方法で実施しているか。周りと協力しているか。
6	ソフトテニス(男子)	サーブ、フォアハンドストローク、バックハンドストローク	12	○	○	○	基礎点を応用点を理解して、技の向上に努めているか。
7	ダンス(女子)	創作ダンス		○	○	○	基礎技術を大切に、試合の戦術を立てるなどしているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 班で協力し、ダンスを完成させようとしているか。
8	バスケットボール(男子)	パス、ランニングパス、ミドルシュート、レイアップシュート、ゲーム	12	○	○	○	基礎技術を大切に、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
9	ソフトテニス(女子)	サーブ、フォアハンドストローク、バックハンドストローク		○	○	○	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 基礎技術を大切に、試合の戦術を立てるなどしているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
10	柔道(男子)	受け身、固め技、立ち技	14	○	○	○	安全に配慮し、技の習得に主体的に取り組んでいるか。
11	バスケットボール(女子)	パス、ランニングパス、ミドルシュート、レイアップシュート、ゲーム		○	○	○	準備や後片付け、相手を敬う気持ちを大切にしているか。
12	体育理論(男女)	オリンピックとパラリンピックの意義、スポーツが経済に及ぼす効果	2	○	○	○	基礎技術を大切に、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 オリンピックやパラリンピックの歴史や意義について考察するとともにスポーツの波及効果について説明できるか。(板書、小テスト)
1	スキー(男女)	ブルータク、シュテム、ずらしのターン、カービングターン、総合滑走	15	○	○	○	安全に配慮し、自分の技術に合わせた滑走を心がけているか。
2	体育理論(男女)	スポーツの高潔さとドーピング、スポーツと環境	2		○	○	ドーピング問題について理解し、スポーツを行ううえで大切な環境について深く考えることができたか。(板書、小テスト)
3							

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
保健体育	保健	1単位	2年次	必修
教科書	現代高等保健体育(50 大修館 保体701)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
3単元 生涯を通じる健康について理解を深め、健康に関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。				
4単元 健康を支える環境づくりについて理解を深め、健康づくりに関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、理解している。	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについて関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習項目の85%以上	学習項目の60%以上	—
②思考力 表現力	各検査等の85%以上	各検査等の60%以上	—
③学びに向かう力	授業等への参加80%以上	授業等への参加60%以上	—

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	3単元 1ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	2	○	○	○	問題プリントや要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見や発表等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】 積極的にグループ演習に参加している。【学びに向かう力】 発表等に備え、協力して準備等をおこなっている。【思考力 表現力】
5	2思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	2	○	○	○	
6	3性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	2	○	○	○	
	4妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	2	○	○	○	
7	5避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	2	○	○	○	
8	6結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の開始について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	2	○	○	○	
	7中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的取り組みについて説明できる。	1	○	○	○	
9	8働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	2	○	○	○	
10	9労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	2	○	○	○	
	10健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	2	○	○	○	
11	4単元 1大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。	2	○	○	○	問題プリントや要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見や発表等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】 積極的にグループ演習に参加している。【学びに向かう力】 発表等に備え、協力して準備等をおこなっている。【思考力 表現力】
12	2水質汚染、土壌汚染と健康	・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚染、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	1	○	○	○	
	3環境と健康にかかわる対策	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	2	○	○	○	
1	4ごみの処理と上下水道の整備	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	2	○	○	○	
	5食品の安全性	・食品の安全性と健康とのかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	2	○	○	○	
2	6食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	1	○	○	○	
	7保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	1	○	○	○	
3	8医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	2	○	○	○	
	9医療品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	1	○	○	○	
4	10さまざまな保健活動や社会的対策	・国民機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	1	○	○	○	
	11健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	1	○	○	○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
家庭	家庭基礎	2単位	2年次	必修
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。				
(2)家庭及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。				
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学びに向かう力・人間性
生活を主体的に営むために必要な、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価方法	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識・技能 (基本的な知識・技能の習得)	定期テスト、小テスト、ワークシート、フリーレポート	学習内容を深く理解し、意欲的に学習活動に取り組むとともに、技能を十分身に付けている。(達成率:85%以上)	基礎的な学習内容を理解し、学習活動に取り組むとともに、技能を身に付けている。(達成率:40%以上)	基礎的な学習内容が理解できず、技能の定着が不十分である。(達成率:40%以下)
②思考力・判断力・表現力(知識の活用、解決する力)	ワークシートやレポートの授業中の様子、グループ学習の様子	課題に対して様々な視点から考察し、根拠や理由等を示しながら論理的に自分の考えをまとめることができる。	課題に対して考察し、自分の考えをまとめることができる。	課題に対して、自分の考えをまとめることができるが不十分である。
③学びに向かう力・人間性(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)		自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、他者の価値観を尊重しながら主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、参画、実践しようとしているが不十分である。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 生涯を見通す	ライフステージと課題、自立、意思決定	5				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】
5	第2章 人生をつくる	家族、民法、成年年齢、働き方	5				◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】
6	第5章 共に生き、共に支える	ボランティア、社会福祉、防災意識	2				◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
7	第9章 経済活動を営む	意思決定、悪質商法、購入と契約、支払、家計、消費者	9	○	○	○	
8	第10章 持続可能な生活を営む	エシカル消費、自然環境や社会環境	2				
	第7章 衣生活をつくる	被服の役割、繊維の性質、洗濯、保管	8				
9	第7章 食生活をつくる	食生活の課題、栄養、食中毒、献立、食文化	10				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】
10	第3章 子どもと共に育つ	妊娠と出産、子どもの発達、権利と責任、こども基本法	9				◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】
11	第4章 超高齢社会を共に生きる	高齢期の健康と自立支援、介護保険、地域づくり	5	○	○	○	◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
12	第8章 住生活をつくる	住居の機能、平面図と記号、防災、健康と住生活、起居様式、環境	5				
1,2	第6章 食生活	調理実習	6				
3	第11章 これからの生活を創造する	ライフプラン ホームプロジェクト	4				

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
芸術	音楽Ⅱ	2単位	2・3年次	C群
教科書	高校生の音楽 2			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
音楽の諸活動をおして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成するとともに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことを目指す。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
音楽についての基礎的な知識を習得すること。	音楽の歴史的・文化的背景を知覚し、生み出される音楽を感受すること	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組む。
楽器演奏についての基礎的な技術を習得すること。	習得した知識や技能を駆使して自己表現すること。	生活の中で音楽を身近に感じて楽しむ習慣を身につける。
自ら感受したイメージや気持ちを、言葉で表すこと。	お互いの価値観や個性を認め、音楽の多様性を感じ取ること。	生涯をととして音楽を愛し、親しむ心を育む。
音楽の歴史的・文化的背景を理解すること。	鑑賞によって他者の良さを見つけ、自己の課題への創作意欲につなげられる。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目を2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4, 5月	楽典 ソルフエージュ テーブルパーカッション	1年次既習事項の復習	14	○	○	○	歌詞や音符、休符等の音楽記号、楽典についての理解ができているか
6～8月	グラスハープ 鑑賞 クラシックギター	音階について 作音 コード弾き、メロディ弾き	16	○	○	○	正しい音程で演奏できているか 個性を生かしてグループ活動ができているか
9, 10月	歌唱	外国語の歌唱	20	○	○	○	西洋音楽への理解、発音について理解できているか
11～1月	鑑賞 創作 文化等	ポピュラー音楽史 前奏の創作と基本奏法	10	○	○	○	様々な音楽や楽器、ジャンルについて理解できているか 楽器の扱い方を理解し、音への興味が湧いているか
2, 3月	創作	動機に基づいた楽曲の創作 (DTM)	10	○	○	○	作曲法の仕組みを理解しているか

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
美術	美術Ⅱ	2単位	2・3年次	C群
教科書	美術2 光村			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
① 描写表現力の向上				
② 基礎的技能と経験を広げ、より深い美的感覚、創造的発想力、構想力を身につける。				
③ 制作と鑑賞を通し、主体的で個性的な表現力を身につける。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
美術Ⅱにおける創造的な見方・考え方を働かせることができた。	造形的な見方・考え方を働かせた主題の生成ができた。	美術の創造活動の喜びを味わうことができた。
造形や美術を捉える視点について美感的に理解を深めることができた。	創造的な表現の構想を練ることが出来た。	主体的に造形的な見方・考え方を働かせることができた。
創造的な美術を表現するために必要な技能を身につけることができた。	造形や美術、文化などについて自分の価値意識を持って捉えることができた。	表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養うことができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた。	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の1つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月	オリエンテーション	美術Ⅱの1年間の授業内容を理解する。授業に必要な道具等を確認する。	1	○	○	○	1年間の授業内容及び必要な道具の理解。
5月	抽象画	抽象画についての理解を深め、線描から形をみつけて線取り、抽象画のイメージをつける。	10	○	○	○	ランダムな線・図形でバランスよくデザインされているか。様々な画材・素材の工夫がみられるか。形からのイメージを色彩に表現しているか。
6月		モダンテクニックを学び、イラストボードに描画。イメージを膨らませ着彩する。					
7月	パラパラ漫画	アニメーションの歴史と、ものが動いて見える仕組みを理解し、単結帳でパラパラ漫画を制作する。	17	○	○	○	動き・画面に工夫がみられるか。描画が丁寧に滑らかな動きか。ストーリーに工夫がみられるか。
8月							
9月							
10月	共同制作	グループに別れ、それぞれでテーマを設定し、テーマをもとに作品のかたちや材料を決定する。共同制作の難しさ楽しさを感じる。	16	○	○	○	計画性を持って制作に臨むことができているか。テーマと作品のデザインにまとまりがあるか。素材の良さを活かしているか。素材の特徴を捉え、工夫した立体を構想できているか。
11月	静物着彩	構図を決め、鉛筆で略図を描画する。本番用下書きを作成し着彩していく。	6	○	○	○	形を捉えることができているか。光と影、色彩のバランスがとれているか。モチーフの質感を掴んでいるか。構図のバランスがとれているか。
12月							
1月	飛び出す私の推しPRポップ	広告デザインとして、自分の好きなものや人物を他者に伝えられるようなポップを段ボールに着彩して作る。	12	○	○	○	広告デザインの基礎を理解し、キャッチコピーやフォントを構想しているか。モチーフの良さを見だし、文字やイラストの形や色で表現することが出来ているか。作品から新たな発想を生み出し、創意工夫のある1枚となっているか。全体のバランスが整っているか。
2月	共同制作(2年)卒業装飾	インスタレーションアートについて学び、自分自身にとつての"卒業"について考え、それを装飾として、他者の気持ちを考えながら具現化する。	4	○	○	○	テーマについて自分自身で考え制作に臨んでいるか。テーマと作品があっているか。
3月	宗教美術について(鑑賞)	様々な宗教美術作品を鑑賞し、その違いや共通点をさがし、制作背景を考察する。	4	○	○	○	色や形に注目し違いや共通点について考察・理解できているか。自分自身の考えをワークシートに書いているか。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
芸術	書道Ⅱ	2単位	2, 3年次	C群
教科書	書道Ⅱ(教育出版)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
文字や書芸術の歴史に関心を持つことができた	文字を造形的な視点で捉えることができた。	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組むことができた。
各時代の表現方法や字体の変遷を知り、臨書学習によって再現できた	臨書学習によって習得した技能を用いて作品を制作できた。	漢字文化圏の伝統文化に関心を持つことができた。
様々な用具・用材の特性を知ることができた	様々な用具・用材の特性を生かして個性豊かな作品を制作できた。	生涯にわたり、生活の中で書芸術を身近に感じて楽しむ習慣を身につけることができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4～7月	漢字の書	篆書の臨書及びそれを用いた創作活動。隷書の臨書学習。	24	○	○	○	篆書及び隷書の用筆法を理解し再現できたか。 用具・用材の特性を生かし、個性豊かな作品を創作できたか。
8～9月	漢字の書	草書・行書・楷書の古典作品の臨書学習。漢字の書の創作。	14	○	○	○	それぞれの古典作品についての理解を深め、用筆法を習得できたか。 臨書学習の成果を生かし、創作できたか。
10月	漢字仮名交じりの書	テーマをもとに作品にしたい詩文を選び、これまでの学習を生かして独自の作品を制作する。	10	○	○	○	計画性を持って制作に臨むことができたか。 テーマについて深く考察しているか。 臨書学習の成果を生かしているか。
11月～12月	生活の中の書	年賀状の制作。墨流し・マーブリングで作成した料紙に新年にふさわしい文字や詩文を書き入れる。	12	○	○	○	主体性を持って制作できたか。 作品に創意工夫が見られるか。
1月～3月	仮名の書	平安朝の仮名作品を臨書する。	10	○	○	○	連綿や散らし書きの技法を習得できたか。